

科目名称：	医療一般	
担当者名：	石堂みゆき、松浦美春	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>2008年、厚生労働省は、病院勤務医の事務作業負担の軽減を緊急課題とし、ドクターの事務作業を補助する職員（医師事務作業補助）の配置を評価の対象としました。これを受けて医療現場では、年々増加する医師の事務負担を減らし、医療行為に専念できる環境が整えられつつあります。</p> <p>医師事務作業補助業務を行うにあたり、健康保険法、医療法、医師法、薬事法などさまざまな法律が関係するため、保険医療機関や保険医等が守るべき「保険医療機関及び保険医療養担当規則」の把握や、医療に関する法律において、医療機関の社会的役割や法に沿った業務遂行、「個人情報」「医療安全」について学修します。また、人体の構成および機能を基本とした診断、治療の方法など、医学や薬学について基礎知識を学び、技能審査試験に合格できるレベルに到達出来るよう学修を進めます。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>医師事務作業補助認定試験合格率80%以上を目標に、ドクターズブランク資格取得へ向けて講義を進めます。医師事務作業補助認定試験の知識分野の修得が目標です。</p>		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP (2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	○
DP (3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP (4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP (1)					0
ビジネスDP (2)			70	30	100
ビジネスDP (3)					0
ビジネスDP (4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 石堂みゆき 医療事務点検業務・受付	《経験年数1》 12年
	《内容2》 松浦美春 医療事務点検業務・受付	《経験年数2》 11年
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間 (分)
第1回 医療保険制度(グループワークで医療保険制度についてディスカッションをする)	シラバスを精読し、医療一般について考えておくこと。	20分
第2回 医療保険制度	授業で学習した内容(医療保険制度)を復習すること	20分
第3回 医療保険制度	授業で学習した内容(医療保険制度)を復習すること	20分
第4回 医療関連法規	授業で学習した内容(医療保険制度)を復習すること	20分
第5回 医療関連法規	授業で学習した内容(医療保険制度)を復習すること	20分
第6回 医学一般、薬学一般	授業で学習した内容(医学一般、薬学一般)を復習すること	20分
第7回 医学一般、薬学一般	授業で学習した内容(医学一般、薬学一般)を復習すること	20分
第8回 医学一般、薬学一般	授業で学習した内容(医学一般、薬学一般)を復習すること	20分
第9回 医学一般、薬学一般	授業で学習した内容(医学一般、薬学一般)を復習すること	20分
第10回 医学一般、薬学一般	授業で学習した内容(医学一般、薬学一般)を復習すること	20分
第11回 医師事務作業補助業務について	授業で学習した内容(医師事務作業補助業務)を復習すること	10分
第12回 診療録の記録、電子カルテについて	授業で学習した内容(診療録の記録、電子カルテ)を復習すること	10分
第13回 診療録の記録、電子カルテについて	授業で学習した内容(診療録の記録、電子カルテ)を復習すること	10分
第14回 個人情報の保護	授業で学習した内容(個人情報の保護)を復習すること	10分
第15回 医療機関における安全管理	授業で学習した内容(医療機関における安全管理)を復習すること	10分
事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。 また、事前事後学修としては、復習した内容を資料にまとめておくこと。		
成績評価の方法・基準		
定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。 演習課題・修了試験 70%、授業への貢献、授業への積極的関与 30%		
課題に対するフィードバック		
授業中使用プリントは評価し返却する。		
教科書・参考書		
教科書：メディカルドクターズクラークテキスト1～5 著者：(株)ニチイ学館 出版：(株)東京丸の内出版 参考書：問題集－技能認定試験問題集		